

鎌ヶ谷巧業 PRESENTS

第49回 千葉県U15 中学生バスケットボール選手権大会

女子準決勝 戦評

〔女子準決勝〕

昭和学院中学校 (市川・浦安)	81	$\left\{ \begin{array}{l} 17-17 \\ 19-6 \\ 20-14 \\ 25-10 \end{array} \right\}$	47	HOOPS 4 HOPE (クラブユース)
--------------------	----	---	----	--------------------------

【評】

第1ピリオド、開始両者得点が決まらず昭和学院のタイムアウト。昭和学院の確実な動きから正確に得点を決めていく。対するH4Hは、#3渡部のドライブからリズムをつくり始め、昭和学院も点数が決まらず苦しい状況が続く。H4H#10福永のスリーポイントシュートが決まり、流れを掴むも昭和学院も1on1で点数を重ね、残り21秒昭和学院#8大城のフリースローにより同点で終了となった。第2ピリオド、H4Hサイドからスタート。ファーストシュートは、H4H#20萩原が決め、お互いスピード感ある攻めが続く。昭和#12石井のインサイドプレイやハンドオフからインサイド、アウトサイドでバランスよく得点を決めていく。対して、H4Hもドライブでせめるが得点ならず苦しい状況が続く。昭和学院#6小崎のスピードあるドライブに対し、H4H#0浅野、#10福永の激しいディフェンスで守備を固める。

後半戦は、第3ピリオド、昭和学院#5月松のドライブからのバスケットカウント、#4藤原のスリーポイントシュートで得点を重ねていく。対するH4Hも#0浅野、#10福永のスピード感あるドライブで追いかける。H4Hは、チーム一丸となって戦うも、昭和学院#7醍醐の連続得点で一気に突き放しにかかる。対するH4Hも外角のシュートを狙い追いかけてやうとするが、得点に繋がらず苦しい状況。第4ピリオド、H4Hは粘り強いルーズボールやリバウンド、ディフェンスと外からのシュートで追い上げようとしたが、点数は届かず昭和学院の勝利となった。H4Hの最後まであきらめず戦った選手たちに拍手を送りたい。

〔女子準決勝〕

翔凛中学校 (木更津・袖ヶ浦・君津)	43	$\left\{ \begin{array}{l} 13-15 \\ 13-12 \\ 11-14 \\ 6-6 \end{array} \right\}$	47	市川市立 第三中学校 (市川・浦安)
-----------------------	----	--	----	--------------------------

【評】

第1Q、市川三は#6米澤、#7丸山、#8牧野の鋭いドライブで翔凛のDFの中を切り込み得点を重ねていく。対する翔凛も果敢に中を狙っていくが、堅いDFに中に入れずアウトサイドシュートを狙う。市川三の勢いが続き8-15と開くが、翔凛#44高橋の1対1からのバスケットカウント、#31徳永の3ポイントでくらくつき13-15で終える。

第2Q、市川三は#4武藤のドライブや#5和田のミドルシュートで点を重ねるも、翔凛のDFも激しくなり、次第に中まで切り込むことができずつかまってしまう。翔凛は#25安田の1対1や#44高橋の1対1でバスケットカウントを得て、一時逆転するも両者拮抗した状態で後半戦へ。

第3Q、翔凛は#31徳永の3ポイント、#22山下のペネトレイトによる得点を重ね、同点とするも市川三#18増田のアウトサイドシュートなどで再び引き離し、37-41と市川三の4点リードで終える。

第4Q、市川三がつきはなそうとするも翔凛#73梅田のポストプレイで点差を戻す。その後、市川三#5和田がバックコートでパスカットからのバスケットカウントを沈め、市川三が流れを掴みかける。しかし、翔凛#73梅田がオフェンスリバウンドに奮闘し、両者一步も譲らず、最後は43対47で市川三が決勝への進出権をつかみとった。最後まであきらめずボールを追いかけて、つめよった翔凛中学校の健闘を称えたい。

鎌ヶ谷巧業 PRESENTS

第49回 千葉県U15中学生バスケットボール選手権大会

男子準決勝 戦評

〔男子準決勝〕

八千代松陰中学校 (八千代)	83	$\left\{ \begin{array}{l} 17-14 \\ 25-13 \\ 24-11 \\ 17-22 \end{array} \right\}$	60	鴨川市立 鴨川中学校 (安房)
-------------------	----	--	----	-----------------------

【評】

第1シードの八千代松陰中学校と、前日の試合に快勝し勢いにのる鴨川市立鴨川中学校との準決勝。両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。

第1Qは八千代松陰#5小張、鴨川#2山田が、それぞれ最初のオフENSEスをドライブからレイアップに成功。その後、八千代松陰は速攻から#4菊谷のレイアップ、#7渡邊のリバウンドシュートで得点を重ねる。鴨川は#1三山がジャンプシュート、3Pシュートを決めて食い下がる。

第2Qの立ち上がり、八千代松陰の#7渡邊がゴール下と3Pシュートを立て続けに決め、点差を広げる。鴨川も#1三山のドライブ、#3大和田の3Pで対抗。しかし、八千代松陰は#5小張がドライブからのゴール下シュートを着実に決め、42-17と15点リードで前半終了。

第3Qに入っても、八千代松陰は#7渡邊のドライブからノーマークの#6大野への合わせ、#4菊谷のレイアップと多彩なオフENSEス。一方、鴨川は#2山田がドライブからフリースローを獲得し、2本とも沈める。次のオフENSEスでも#2山田がプルアップのジャンプシュートに成功。対して八千代松陰は、#11早坂のゴール下、#8和知のドライブが決まり、徐々に点差を広げる。

最終の第4Q、鴨川は#1三山、#3大和田が連続して3Pを決める。しかし、八千代松陰#5小張の3P、#4菊谷のスティールからレイアップ成功。点差はこの試合最大の33点差となり、鴨川のタイムアウト。立て直した鴨川は#12平野の3Pなどで点差を縮める。しかし、メンバーが代わっても激しいディフェンスで八千代松陰が逃げ切り、決勝へと駒を進めた。最後まであきらめずに果敢に戦った鴨川の選手たちに拍手を送りたい。

〔男子準決勝〕

千葉ジェッツU15 (クラブ)	54	$\left\{ \begin{array}{l} 16-9 \\ 15-16 \\ 14-12 \\ 9-16 \end{array} \right\}$	53	千葉市立 椿森中学校 (千葉)
--------------------	----	--	----	-----------------------

【評】

千葉ジェッツU15はオールコートマンツーマン、椿森はハーフコートマンツーマンでスタートした。椿森は#清水と#5村上を中心にオフENSEスを展開。それに対し千葉ジェッツU15は、#1の和田を中心にオフENSEスを展開し得点を重ね、第1Qを16-9と7点リードする。第2Q序盤、椿森はオールコートマンツーマンに変え、ディフェンスから流れをつかみ、#4清水のドライブや#5村上のシュートで得点を重ねる。#7安山のオフENSEスリバウンドもあり、さらに得点を重ね椿森が逆転をする。その後、千葉ジェッツU15は、#26藤井と#30小倉の連続3ポイントシュートを決め、千葉ジェッツU15が再度リードし、31-25で前半を終える。第3Qは両チームとも、相手に流れをつかませず、45-37で第3Qを終える。第4Qは、椿森#6井口の3ポイントシュートなどで得点を重ね、残り6分23秒で同点に追いつく。その後、互いにディフェンスを頑張り、どちらも大きなリード許すことなくゲームが展開する。残り2分53秒で千葉ジェッツU15#和田の3ポイントシュートが入り、54-52と千葉ジェッツU15がリード。残り1分12秒で椿森#4清水がオフENSEスリバウンドからファールをもらい、フリースローを1本決め、54-53と1点差までつめる。リバウンドボールをしっかりキープした千葉ジェッツU15が1点のリードを守り、54-53勝利した。敗れたものの最後まで諦めずに走りぬいた椿森の選手の健闘を称えたい。拮抗ゲーム展開の中で、最後まで気迫あふれるプレーを続け、お互いの良さを引き出しあったゲームであった。

鎌ヶ谷巧業 PRESENTS

第49回 千葉県U15中学生バスケットボール選手権大会

男女決勝 戦評

〔女子決勝〕

昭和学院中学校 (市川・浦安)	64	$\left\{ \begin{array}{l} 18-16 \\ 18-16 \\ 11-13 \\ 17-13 \end{array} \right\}$	58	市川市立 第三中学校 (市川・浦安)
--------------------	----	--	----	--------------------------

【評】

第1シードの昭和学院と第2シードの市川三中との新人戦決勝と同一カードの決勝戦。両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。1Q、昭和学院#8大城の3Pで先制し。その後は、#4の藤原の1on1を中心にオフェンスを展開し、得点を重ねる。対する市川三中は、#8のゴール下やミドルシュートで応戦する。互いに厳しいディフェンスを展開する中で、限られたチャンスものにして加点し、18-16で1Qを終える。2Q、市川三中は、#18増田の3Pで1点差と詰める。その後、昭和学院の激しいディフェンスにシュートが入らない時間帯が続くが、早い展開からの#4武藤3Pなどの数少ないチャンスを確実にものにして食らいつく。対して昭和学院は、引き続き#4藤原の1on1でペースを作り、それに続き#5月松のドライブ#7醍醐のシュートなどで得点を重ねる。互いに一步も引かずに前半36-32で折り返す。3Qは、昭和学院#8大城が開始早々に3Pを入れる。市川三中は、#4武藤の1on1で応戦する。序盤は互いに激しいディフェンスでシュートが入らない時間帯が長く続いた。苦しい時間が続く中で、昭和学院#6小崎が45°からの1on1からバスケットカウントを獲得。市川三中は、#4武藤、#8牧野のピック&ロールから鮮やかにゴール下を決める。4Qは、昭和学院#8大城の3Pからスコアが動く。互いに一步も引かず、昭和学院は、#5月松のシュートなどでスコアを伸ばす、市川三中も#4武藤のバスケットカウントで同点に並ぶ。その後、苦しみながらも昭和学院の#4藤原の3Pが決まる。市川三中は、#5和田のポストアップ、#6米澤のゴール下、#8牧野のシュートで追いかける。終盤、昭和学院#7醍醐のハイポストドライブが決まる。昭和学院のディフェンスの激しさが増し、昭和学院#4藤原の3Pも決まり、昭和学院が最後まで試合をコントロールし勝利を収めた。両者の健闘を心より讃えたい。

〔男子決勝〕

八千代松陰中学校 (八千代)	78	$\left\{ \begin{array}{l} 14-4 \\ 20-14 \\ 18-18 \\ 26-10 \end{array} \right\}$	46	千葉ジェッツU15 (クラブユース)
-------------------	----	---	----	-----------------------

【評】

両チームともハーフマンツーマンで試合開始。立ち上がりから、お互い激しいディフェンスでなかなか得点の入らない展開となる。しかし八千代松陰は#4菊谷のドライブや、速い展開で得点を重ねる。対する千葉ジェッツU15はディフェンスをオールコートマンツーマンにすることで打開しようとするが、なかなか得点は決まらず、14-4で第1ピリオドを終了する。第2ピリオドも八千代松陰の流れは変わらず、#5小張、#関の連続スリーポイントで点差を広げる。千葉ジェッツU15は#崎元のスリーポイントや#27山本のジャンプシュートで攻めるも、八千代松陰の#7渡邊を中心とした高さのある攻撃にファールがかさむ。34-18と八千代松陰がリードを広げ、第2ピリオドを終える。第3ピリオド序盤、千葉ジェッツU15は#30小倉の連続スリーポイントで追いあげる。しかし、八千代松陰も#4菊谷を起点とする速攻で得点を重ねる。千葉ジェッツU15も終盤、#1和田のスリーポイントやバスケットカウントで対抗し、このピリオドは差が広がらず52-36で第4ピリオドへ。第4ピリオド、千葉ジェッツU15はディフェンスの強度を上げ、追い上げを図るも、八千代松陰は#5小張のドライブで着実に加点し差を広げる。一方、千葉ジェッツU15は#30小倉のスリーポイントで食い下がるも思うように差が縮まらず、78-46で八千代松陰が優勝を決めた。最後まで諦めずに戦った千葉ジェッツU15の選手の健闘を称えたい。

